

**【施策評価調書】**

施策名	5-3-2	体験・交流活動の充実		120	生涯学習は、町民一人ひとりが自発的な意思により、自己の充実、啓蒙や生活の向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を利用し、自分に適した手段、方法を選択し、一生涯をとおして行うものです。その実現に向け、学習意欲が持続されるよう、様々な自然体験、社会体験、交流活動の機会の充実、事業の幅に広がりを持たせ、参加者の増加を図るとともに、生きがいのある充実した人生を送れるよう、さらに、学習を通じた人とのふれあいを豊かにするよう支援をしていきます。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部	生涯学習課	担当 リーダー	社会教育担当 横塚恵子	ボランティア団体やNPO法人*と連携し、生涯学習の一環として実施する自然体験、体験活動、交流活動を充実させ、参加者の拡大を図ります。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
環境変化	近年、社会環境が大きく変化し、生活様式、価値感が多様化し、住民の要望が多様化していると言われている				

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：自然体験年間参加者数(人)(文化・スポーツ・青少年 再掲)	平成16年度	計画	1,400人	1,800人	2,200人	2,700人	3,000人
	1,000人	実績	1,464人	1,870人	2,066人		
指標：体験活動年間参加者数(人)(文化・スポーツ・青少年 再掲)	平成16年度	計画	45,600人	48,200人	52,800人	57,300人	60,000人
	44,849人	実績	49,915人	50,639人	50,990		
指標：交流活動年間参加者数(人)	平成16年度	計画	2,000人	2,300人	2,500人	2,800人	3,000人
	1,740人	実績	3,295人	2,994人	2,521		
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	71,000	1,535,000	848,000	800,000	
	決算	0	729,859	669,499		

**事務事業事前評価 22年度の組立て**

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)	今後の方向性(総合評価)	条件付継続
体験・交流活動事業費	H21 現計 800,000	参加人数	学習を通じた人とのふれあいを豊かにし、生きがいのある充実した人生を送れるようになります。		
	H22 計画 738,000				
(再掲)地域福祉活性化事業	H21 現計	拠り所の設置、福祉ネットワークの立ち上げ	地域におけるサロン活動は、児童から高齢者まで多層な年代間の交流が展開できる。また、ボランティア登録者のサロン活動の支援を得るなどして、活動範囲の拡大が進められます。		条件付継続
	H22 計画 2,270,550				
	H21 現計	2地区			継続
	H22 計画				
	H21 現計				
	H22 計画				
	H21 現計				
	H22 計画				
	H21 現計				
	H22 計画				

**施策事前評価 22年度の組立て**

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	人生をより良く健康で充実した生活を過ごすための生涯学習の推進として、年齢層に応じた講座や現代社会における課題に対応した学習の場などを提供していきます。またボランティア団体やNPO等と連携し、自然体験や交流活動を実施し交流を図ることにより、子供からお年寄りまで活気に満ちた町民をめざします。	幅広い町民の参加が得られるよう、講座・事業内容にも工夫した体験交流学習の機会を提供します。 なお、公民館講座「いきいき教室」は、町健康福祉課で実施している「はつらつ教室」とも連携し、より充実した事業になるよう取り組んでいきます。
現状水準維持			
総合評価	後期計画に向けて、他の分野で行う施策や生涯学習課で行う他の施策などと抱き合わせにより、一層の成果をあげていくなど、手法を改善すること。その上で、生涯学習課として達成したい水準を明確に提示した上で、職員の負荷を考慮した事務を整理すること。		